



ボーリング孔配置図
 縮尺 = 1 : 500

ボーリング柱状図

調査名 仮称富屋地区市民センター新築工事地質調査

ボーリングNo.

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 1 孔		調査位置	宇都宮市徳次郎町63-2				北緯		
発注機関	宇都宮市役所			調査期間	平成7年7月28日~7年7月29日		東経			
調査業者名	生田目建築設計事務所 電話(0286-21-5353)		主任技師	現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	KBM +0.59m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 270° 西 90° 東 180° 南	地盤公配	使用機種	東邦D-O-S	ハンマー 落下用具	トンビ
総掘進長	10.00m	度		向		鉛直 90°	エンジン	NF110	ポンプ	PA-3

標尺 (m)	層高 (m)	厚 (m)	深 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	標準貫入試験				原位置試験	試験採取	室内試験	掘進月日
										深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)	N 値				
-0.01	0.60	0.60			盛土	暗灰褐色	軟らかい	上部0.20m付近まで軽石・玉石・ハリガネ等から成る。以深、砂質シルト~高粘土より成る。下部は径2~4mmの軽石混入。含水比高位。固結している箇所あり。市軽石・粘土多量混入。小礫及び炭化物多量混入。	7/29 5.50	1.15	1	1	1				
-1.11	1.10	1.70			軽石	赤褐色	軟らかい			1.45	1	1	1				
					ローム	淡褐色 茶褐色	軟らかい	含水比中位。粘性低~中位。炭化物・小礫及び砂分を極少量混入。全体に粘土質を呈す。下部、締っている。		2.15	1	1	1				
-3.31	2.20	3.90			粘土質細砂	灰褐色	緩い	含水比高位。軽石及び小礫混入。全体に若干粘土質を呈す。		2.45	1	2	2				
-4.21	0.90	4.80			軽石	乳白褐色	軟らかい	砂質軽石。小礫及び炭化物混入。粘土多量混入。		3.15	1	2	2				
-4.71	0.30	5.30			粘土質細砂	灰褐色	緩い	含水比中位。上部砂質粘土より成る。小礫混入。若干ローム質を呈す。		3.45	1	2	2				
					玉石混り砂礫	灰褐色 暗灰褐色	密な	含水比低位。径2~75mm程度の円礫及び角礫混在。玉石径100~150mm程度混在。所々緩い砂を挟む。全体に若干粘土分混入。逸水あり。崩壊しやすい。6.00m付近より玉石多量に点在。基質部は粗粒砂より成る。		4.15	1	2	1				
										4.45	1	2	1				
										5.15	2	7	15				
										5.45	50	5	50				
										6.00	5	5	50				
										6.05	5	5	50				
										7.00	貫入不能		50				
										7.00	5	5	50				
										8.00	5	5	50				
										8.05	5	5	50				
										9.15	17	14	19				
										9.45	貫入不能		50				
										10.00	貫入不能		50				
										10.00	貫入不能		50				

ボーリング柱状図

調 査 名 仮称富屋地区市民センター新築工事地質調査

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 3 孔		調査位置	宇都宮市徳次郎町63-2			北緯	
発注機関	宇都宮市役所			調査期間	平成7年7月25日～7年7月26日		東経	
調査業者名	生田目建築設計事務所 電話(0286-21-5353)		主任技師	現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	KBM +0.64m	角 180° 上 90° 下	方 北 270° 西 180° 南	地盤公配 鉛直 90°	使用機種 試錐機	東邦D-O S	ハンマー 落下用具	トンビ
総掘進長	10.33m	度	向	水平	エンジン	N F 1 1 0	ポンプ	P A - 3

標尺 (m)	層高 (m)	厚 (m)	深 (m)	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記 事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				N 値	原位置試験 深 (m)	試験名 および結果	採取 深 (m)	採取 番号	室内試験 採取方法	掘進 月日	
											深 (m)	10cmごとの 打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)	貫入量 (cm)								
0.44	0.20	0.20	0.20		盛土	暗褐色			全粒に粗砂(山砂)より成る。小礫混入。		1.15	1	2	30								
-0.38	0.80	1.00	1.00		腐植土	黒褐色			含水比高位。粘性低～中位。下部若干軽石及び小礫混入。		1.45	20	1	30								
-1.61	1.25	2.25	2.25		軽石	黄褐色			含水比高位。上部小礫混入。上部1.40m付近まで七本径軽石以下、赤褐色の中等軽石。粒径2～4mm程度。		2.15	15	15	2	30							
											2.45	15	15	2	30							
											3.15	15	15	2	30							
											3.45	2	3	3	8							
-3.88	2.25	4.50	4.50		ローム	褐色			含水比中位。粘性中～低位。上部腐植土質を呈す。炭化物混入。2.50m付近より若干の軽石混入所々やや締っている箇所あり。		4.15	2	3	3	8							
-4.38	0.50	5.00	5.00		粘土質細砂	暗灰色			含水比中位。全体に若干凝灰質の粘土分を含む。		4.45	1	30	1	30							
-5.28	0.90	5.90	5.90		軽石	乳黄色			含水比高位。粘性低～中位。腐植軽石。極少量の小礫混入。		5.15	1	30	1	30							
-5.68	0.40	6.30	6.30		ローム質粘土	褐色			含水比中位。粘性中位。若干粘土分を含む。小礫混入。やや締っている箇所あり。		6.15	1	20	21	30							
											6.45	貫入不能	貫入不能	0								
											7.00	貫入不能	貫入不能	0								
											8.00	貫入不能	貫入不能	0								
											9.15	26	24	50	15							
											9.80	23	27	50	18							
-9.68	4.03	10.33	10.33		玉石混り砂	暗褐色			含水比低位。上部粘土分を多く含む径2～7.5mm程度の円礫及び角礫混在。玉石径150～200mm程度多量に混在。不規則に砂を挟む。7.60m付近より全透水。若干塊あり。9.80m付近、径80mm程度の硬質な円礫混在。基盤部は細～粗粒砂より成る。下部粘土分を含む。	確認されない	10.15	23	27	50	18							